

第6学年 外国語科学習指導案

令和元年11月18日(月) 第5校時

1 単元名 Hi friends2 Lesson5 「Let's go to Italy.」

2 単元について

本単元では、世界には様々な文化や特色をもつ国があることを理解したり、自分が得た情報をもとに考えたおすすめの本国の紹介を他者に伝えたりすることができることを目指している。“Where do you want to go? I want to go to ~. You can ~.” といった英語表現をくり返し扱い、その内容を理解し、自分のおすすめの本国について話したり書いたりして、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができるようにしていきたい。

Small talk や Activity など児童同士で会話をする場面では、ただ一方的に話すのではなく、“Nice.” や “Me too.” といった相槌やジェスチャーを取り入れさせ、他学年の手本となるようなやり取りを行う。

また、書く活動に関しては、音声で十分に慣れ親しんだ語句や基本的な表現のなぞり書きを中心に行う。行きたい国や行きたい理由など、自分の思いや考えを書くことに重点を置く。

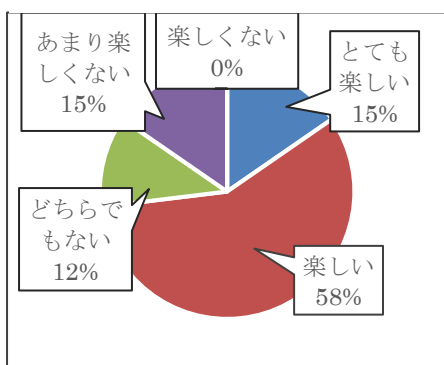
今までの単元で自分たちの住む市、国についての紹介をする活動を行ってきた。本単元では、それを世界に広げ、世界遺産や食生活、その国のよさを知り、世界の国々への興味関心を深めることにつなげたい。

3 児童の実態

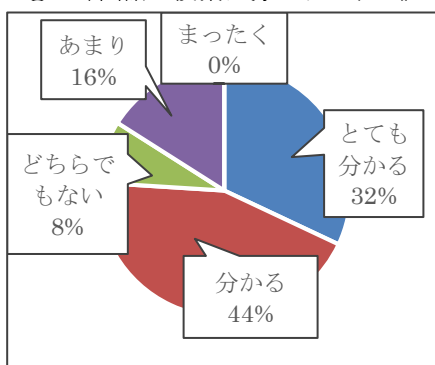
本学級の児童は、1～4年生までは外国語活動、5年生からは週1.5時間の外国語科を通して、ALTと交流したり、英語に親しんだりしてきた。ALTとは、休み時間や他授業の時にも一緒に活動したり声をかけに行っていたりと、授業外でも積極的に英語を使ってコミュニケーションを図る姿が見られる。そんな児童の外国語に関する実態を把握するためにアンケートを実施した。結果は以下の通りである。

アンケート実施：令和元年9月27日 対象：6年〇組児童〇名

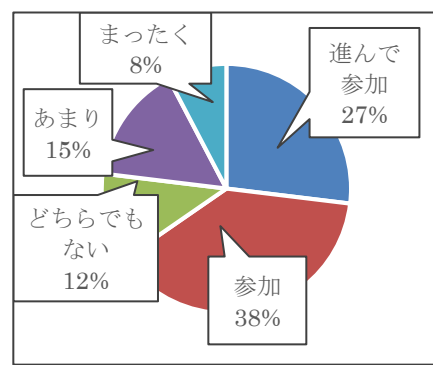
① 外国語の授業は楽しいですか。



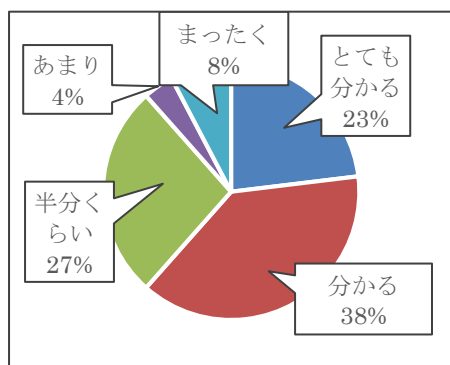
② 外国語の授業は分かりますか。



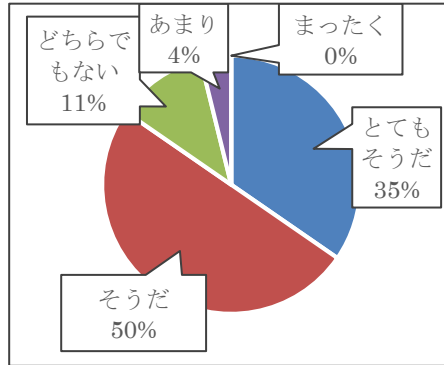
③ 進んで手をあげたり、発表したりして進んで参加していますか。



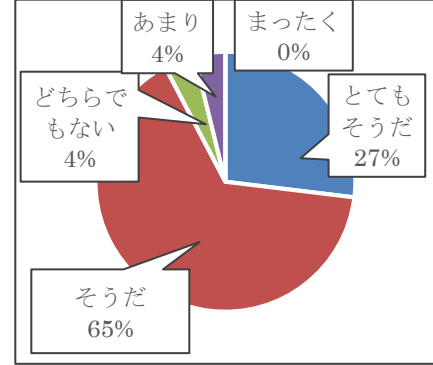
④ 先生の話す英語を聞いて、その意味が分かりますか。



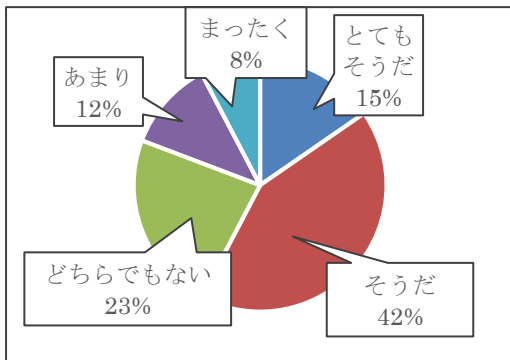
⑤ 英語が分からなくても聞き続けようとしていますか。



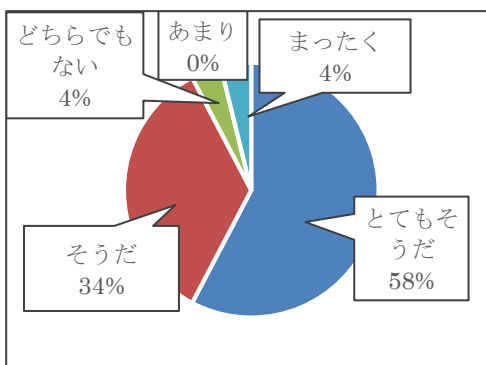
⑥ 挨拶や感謝の気持ちを言葉であらわすようにしていますか。



⑦ 英語でコミュニケーションをとる時、はずかしがったり緊張したりせずに行えますか。



⑧ 自分にとって英語が大切だと思いますか。



アンケートの結果から分かることが大きく二つある。

一つ目は、英語への関心が非常に高いことである。質問⑧の「自分にとって英語が大切だと思いますか。」に対して、約9割の児童が大切だと考えている。理由として「将来（社会人や大学生になった時に役立つから。」「外国に旅行に行きたいから。」「オリンピックが開かれるから。」などがあげられている。また、質問⑦では、7割以上の児童が外国語の授業を楽しんでいるということも分かる。

一方で、質問⑦で「あまり楽しくない」と回答した児童もいる。その理由として、「やるのが毎回ほぼ同じだから。」という意見があった。これまでの学びを活かしつつ、児童の主体性を一層引き出し、外国語を身近に感じることが出来る活動を展開する必要がある。

二つ目は、英語への関心が高いものの、英語が難しいと感じている児童が約2割いるということである。質問②から、外国語の授業が「あまり分からない」という児童が約2割いること、質問④から、先生の話す英語が分からない児童が「半分くらい」までを含めると、約4割いることが分かる。このことから、教師から英語で指示をしたり、デモンストレーションをしたりする時には、ジェスチャーや板書を活用してどの児童にも分かりやすい授業展開を行う必要がある。

また、日々の授業の様子からも友達と英語を使っての会話や様々な活動を意欲的に行っている。一方で、Small talkなどの会話をする時には、こちらで示した表現を一方的に言って終わってしまっている。相槌や相手の言葉を受け止めるような表現を示し、活用させることで児童同士に言葉のやり取りをさせていきたい。

4 研究主題との関連

研究主題「主体的に取り組み、学び合う児童の育成」

～英語に慣れ親しみ、進んでコミュニケーションを図ろうとする外国語活動・外国語の授業作り～

本校では、上記のような研究主題を設定し研究を進めている。コミュニケーションを自ら図ろうとする児童を育成するために、年間を通じて外国語科の課題研究を行っている。

仮説 1

外国の文化や言語を身近に感じる環境を整備し、外国語科授業の意欲付けを充実させれば、児童は英語に慣れ親しみ、楽しさを感じることが出来るであろう。

【具体的な手立て】

- ・毎時間外国語科の授業を実施するイングリッシュルーム内の掲示物を充実・活用させることで児童の英語への関心・意欲を高める。
- ・教室にも、英語の掲示物や英語や外国の地理や文化に関する本を置き、常に外国語に触れることができる環境をつくる。
- ・丹後小として固定化された授業の流れをベースにしつつ、日常生活に結びつくような場面を設定し外国語をより身近なものに感じることが出来るようにする。
- ・ALTと給食や休み時間など授業外で触れあうことで、外国語の言語や文化を身近に感じさせ、英語に自然に慣れ親しませる。
- ・英語の理解が難しいと感じている児童でも、活動の流れや指示が分かり易いよう板書やデモンストレーションを活用する。

仮説 2

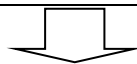
外国語科・外国語活動の授業等における児童のコミュニケーション活動を充実させれば、児童は積極的に英語でのコミュニケーションを楽しむことができるであろう。

【具体的な手立て】

- ・新しい言語や表現に慣れ親しませるため、ALT の繰り返しや児童だけの発音練習などインプットの場を多く取る。
- ・毎回の授業で **Small talk** を行い、単元ごとの重要な英語表現に慣れ親しませる。また、ただ一方的に話すのではなく、挨拶や相槌、ジェスチャーなどを取り入れ、児童同士に言葉のやり取りをさせる。
- ・児童の実生活につながるような具体的な場面を設定し、自分の気持ちや意思を考えて伝える力を身につけさせる。

5 他教科との関連

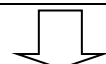
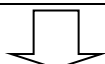
他教科との関連	外国語活動・外国語科のこれまでの授業	学校生活での関連
(国語科) ・つないで、つないで一つのお話 ・学級討論会をしよう (社会科) ・日本とつながりの深い国々 (音楽科) ・「Edelweiss」(英語詞) (道徳) ・ホワイトハウスにできた柔道場 ・米作りがアフリカを救う	4月 (外国語) ・イングリッシュルームの使い方 ・オリエンテーション 5月 (外国語) ・When is your birthday? 6月 (外国語) ・I can swim. 7月 (外国語) ・He is famous. She is great. ・I like my town. 8・9月 (外国語) ・My summer vacation. ・Welcome to Japan.	・ALT と他教科の学習や給食、休み時間に交流を図る。 ・今月の歌を英語で歌う。 ・児童集会で ALT と一緒に英語を使ったゲームを行い英語に慣れ親しむ。



本単元の活動

11月「Let's go to Italy.」

- ・世界には様々な文化や特色を持つ国があることを理解する。
- ・行きたい国について尋ねたり、紹介したりする表現に慣れ親しむ。
- ・おすすめの国について発表したり、友達の発表を聞いて聞いたりしようとする。



英語への慣れ親しみ

コミュニケーションを楽しむ力



外国語科への楽しさの向上

6 単元のねらい

- ・ 世界には様々な文化や特色を持つ国があることを理解する。 【知識・技能】
- ・ 相槌を使いながら、行きたい国を尋ねたり答えたりする表現を用いたやり取りをする。 【思考・判断・表現】
- ・ おすすめの国について発表したり、友達の発表を進んで聞いたりしようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】

7 指導の計画・評価規準（4時間扱い）

時	○目標・活動	表現例・語彙例	評価				
			知	思	主	評価規準	評価方法
1	○国名の言い方や世界の国々の特徴を理解する。 ・ Greeting ・ Small talk ・ Practice (国名) ・ Activity1 (ミッシングゲーム) (キーワードゲーム) ・ Activity2 (Let's Watch and Think.) ・ Review	<表現> Where is it? It's ~ (国名). <語彙> (America,India,France,China,Australia,Egypt,Brazil,Thailand,Spain,Korea,Italy,Russia,Canada,Germany)	○			・世界の国々の言い方やそれぞれの国の文化や特色を理解している。	・行動観察 ・記述分析 ・振り返りカード
2 本 時	○相槌を使いながら、行きたい国を尋ねたり答えたりする。 ・ Greeting ・ Practice (国名) ・ Small talk ・ Activity1 (3ヒントクイズ) ・ Activity2 (Let's go to world trip!) ・ Review	<表現> Where do you want to go? I want to go to~. I want to(eat~,see~,buy~) <語彙> 国名 (America,India,France,China,Australia,Egypt,Brazil,Thailand,Spain,Korea,Italy,Russia,Canada,Germany)		○		・相槌を使いながら、行きたい国を尋ねたり答えたりする。	・行動観察 ・記述分析 ・ワークシート ・振り返りカード
3	○自分のおすすめの国やおすすめする理由を考える。 ・ Greeting ・ Small talk ・ Let's chant 「Where do you want to go?」 ・ Activity1 (紹介したいおすすめ国を考える。) ・ Activity2 (発表練習)	<表現> Where do you want to go? I want to go to~. You can ~. <語彙> 国名 (America,India,France,China,Australia,Egypt,Brazil,Thailand,Spain,Korea,Italy,Russia,Canada,Germany)	○	○		・自分のおすすめの国やおすすめする理由を考えている。	・行動観察 ・記述分析 ・ワークシート ・振り返りカード
4	○自分のおすすめの国について発表したり、友達の発表を聞いたりする。 ・ Greeting ・ Small talk ・ Let's chant 「Where do you want to go?」 ・ Activity おすすめ国を紹介し合おう。	<表現> Where do you want to go? I want to go to~. You can ~. <語彙> 国名 (America,India,France,China,Australia,Egypt,Brazil,Thailand,Spain,Korea,Italy,Russia,Canada,Germany)		○	○	・自分のおすすめの国について発表したり、友達の発表を聞いたりしている。	・行動観察 ・記述分析 ・振り返りカード

8 本時のねらい

- ・相槌を使いながら、行きたい国を尋ねたり答えたりする表現を用いたやり取りをする。

【思考・判断・表現】

9 本時の展開

過程	児童の活動	教師の働きかけ		◇指導上の留意点 ◎評価【観点】〈方法〉 ☆振り返り チェック10の重点	資料	時間
		T1 (HRT)	T2(ALT)			
ウォーミングアップ	1 挨拶をする。 ・ Greeting	<ul style="list-style-type: none"> ・担任が見本となり、ジェスチャーを交えて挨拶をする。 ・自己評価 TANGO の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「OK.」や「Good job.」など声掛けをしながら挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇自然に気持ちよく挨拶させる。 ◇授業への気持ちを高めていく。 		3分
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>T1 : “Let’s start today’s English lesson.”</p> <p>T2 : “Good morning(Hello), everyone. How are you?”</p> <p>児童 : “I’m fine, thank you, And you?” T1・2 : “I’m fine, thank you.”</p> <p>T1 : “Let’s enjoy 英 TANGO. Are you ready?” 児童 : “Yes!”</p> <p>児童 : ““T” try! “A” active! “N” new study! “G” good! “O” output!”</p> <p>T1 : “OK! Good job!”</p> </div>					
	2 前時の復習をする。 ・ practice (国名) ・ Small talk 「Where do you want to go?» 「I want to go to~(国名).」	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子を見取り、必要に応じて支援する。 ・相槌を取り入れ、デモンストレーションをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国旗を見せながら、繰り返し発音させる。 ・相槌を取り入れ、デモンストレーションをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ALT のリピート→児童のみで発音→ランダムに国名を繰り返し発音し、インプットさせる。 ◇振り返りカードをランダムに配付し、色々な人とやり取りができるようにする。 ◇相槌や挨拶を必ずさせ、一方的に話をするのではなく、やり取りをさせる。 	国旗カード	5分
レッスン・チャレンジ	3 本時の目標を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が Today’s goal 本時の目標を理解出来るように説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Small talk からすばやく切りかえられるよう声掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇めあてを意識して活動に臨めるよう全員 Today’s goal を読む。 ☆本時のねらいと活動を板書で明確にし、学習の見通しを持たせる。 	振り返りカード	2分
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>Today’s goal</p> <p>「相づちを使いながら、行きたい国を尋ねたり答えたりしよう。」</p> </div>						

	<p>4 Main-1 Activity 1 (3 ヒントクイズ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子を見取り、必要に応じて支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3 ヒントクイズを出題する。 	<p>◇行きたい国を伝えたり答えたりする表現及び行きたい理由を伝える表現をALTに続けて繰り返し発音させる。</p> <p>◇写真を活用しその国の文化や特色を視覚的にも分かるようにする。</p>		15分
	<p>5 Main-2 Activity 2 (Let's go to world trip!)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デモンストレーションを行い、活動内容を把握させる。 ・必要に応じて、個別に児童を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デモンストレーションを行う。 ・店員役になり、児童と会話をし、口の動きに注目し発音を確認する。 	<p>◇相槌の表現をホワイトボードに掲示し会話の中に活用させ、一方的な話し方でなく、やり取りをさせる。</p> <p>◇会話が止まってしまう児童が伝え易いよう、ワークシートの裏面に国の特色を載せておく。</p> <p>◎行きたい国を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。【思考・判断・表現】(行動観察)</p>	ワークシート	15分
	<p>児童 A (旅行会社の店員) 児童 B (お客さん)</p> <p>児童 A : Hello. 児童 B : Hello.</p> <p>児童 A : Where do you want to go?</p> <p>児童 B : I want to go to ○○○ (国名) .</p> <p style="padding-left: 40px;">I want to eat(see, buy)○○○.</p> <p style="padding-left: 40px;">(その国でしたいことを言う。)</p> <p>児童 A : It's Nice.(Great. Good)</p> <p style="padding-left: 40px;">Here you are. (シールを貼ってあげる。)</p> <p>児童 B : Thank you. See you. 児童 A : See you.</p>					
トップ・オフ	<p>6 振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいを達成することができたか自己評価させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りが記入できているか確認する。 	<p>☆相槌を使いながら、行きたい国を尋ねたり答えたりできたか振り返らせ、気づいたことを書かせる。</p>	振り返りカード	5分
	<p>7 挨拶をする。</p>	<p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> T1 : That's all for today's lesson! Goodbye everyone. 児童 : Goodbye Mr.(Ms.)○○. T1 : See you next time. </p>				

10 板書計画



11 本授業で観てほしいポイント

<仮説 1 >

外国の文化や言語を身近に感じる環境を整備し、外国語科授業の意欲付けを充実させれば、児童は英語に慣れ親しむことができるだろう。

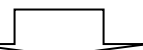


<仮説 1 に対する手立て>

- ・ 掲示物や 3 ヒントクイズの活動から、楽しみながら外国の文化や特色を身近に感じることができていたか。
- ・ 板書やデモンストレーションを活用し、英語の理解が難しいと感じている児童も指示や活動を理解し意欲的に活動を行っていたか。

<仮説 2 >

外国語科・外国語活動の授業における児童のコミュニケーション活動を充実させれば、児童は積極的に英語でコミュニケーションを図るであろう。



<仮説 2 に対する手立て>

- ・ **small talk** や **Activity2** の活動で挨拶や相槌を取り入れ、他学年の手本となるような児童同士のやり取りが行えているか。
- ・ **Activity2** で旅行会社の店員とお客さんという設定を通して、自分の気持ちや意思（行きたい国とその理由）を考えて伝えることができているか。